

鶴岡商工会議所 平成29年度 事業運営方針

昨年我が国経済は、3本の矢を柱とする「アベノミクス」が推し進められ、本年2月の経済報告では「一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」との判断を示している。

本市の経済情勢については、市では「正社員求人を含めた有効求人倍率及び新規高校卒業予定者の就職状況は高い水準を維持し、又、景気は回復基調にあるもの、一部の消費動向に弱さがみられる」とし、本会議所の景気調査（平成28年10月から12月期）では、サービス業を除き、業況、売上げ、採算、資金繰り等は改善傾向にあるとの認識が示され、又、経営上の課題では販売価格の上昇難、消費者ニーズの変化への対応、従業員の確保難などが挙げられている。

のホームドクターを目指し、きめ細かな支援を図っていく必要がある。一方、本市においては、出生数の低下、若年層の流出による人口減少に歯止めが掛からない状況にあり、特に、新規卒業者の就職状況は売り手市場に移行し、これら人材の確保に支障があった会員事業所も多く生ずる状況となっている。

少子高齢化による人口減少は、地域経済の縮小、都市機能の衰退などを招く恐れがあり、人口減少のスピードを抑制するとともに、このような状況下での地域の振興・活性化に資する手立てを、行政、産業経済団体等が連携し、早急に講じていく必要がある。

幸いにもこの鶴岡においては、バイオテクノロジー・ライフサイエンス分野における企業集積・事業展開は着実に進みつつあり、ユネスコ創設都市ネットワーク食分野への加盟、加えて、出羽三山の日本遺産への認定を契機とした、優れた鶴岡の食文化・観光資源を活かした産業の振興・活性化も大いに期待されることである。

更に、市町村合併により拡大した優れた地域資源とポテンシャル、10万都市としては恵まれた高等教育・研究機関の集積など、これらを基とした国内外の人々との交流の活性化も期待されるなど、厳しい社会・経済情勢ではあるものの、将来にわたってこの地域が発展・活性化するための条件は整備されつつある。

また、新潟駅における新幹線と羽越線の同一ホーム乗換え、庄内・羽田便の中型機運航の拡充など、その整備がなされつつあるものについては、市民、企業、他地域にPRしその利用を促すとともに、観光面等で活用する手立てを広域的に講じていく必要がある。

これらを背景として、鶴岡市においては、平成29年度における人口減少の抑制及び地域の振興・活性化に向けての諸施策が展開されるが、当会議所も地域の総合的経済団体の立場から、その責任と役割をより積極的に果たしていく所存である。

また、社会資本の整備推進とこれを活用した地域の振興・活性化策の推進とともに、オリンピック・パラリンピックを好機とするインバウンド観光の推進などについては、庄内一丸となって取り組まれるようリーダーシップを発揮するとともに、出羽商工会、酒田商工会議所、村上商工会議所等と連携した事業展開を進める所存である。

会員事業所各位には本会議所事業への支援・参加をいただくとともに、新規卒業者等の地元就職、子育てしやすい環境の整備等に積極的に取り組まれることをお願いする次第である。

平成29年度における当会議所の事業運営にあたっては、中期行動計画に掲げる「鶴岡・庄内の資源、可能性、総合力に基づく産業の振興・地域の活性化に向けて、六つの基本戦略及び六つの重点事業を柱とした事業展開を図るとともに、経営発達支援計画に基づく、新規創業・事業発展・事業承継、販路拡大、補助金・制度融資の活用等に係るきめ細かい支援を図ることとする。

又、会員事業所に対するサービスの拡充、部会及び青年部・女性会活動等を通して、会員事業所に対するお役立ち度の向上・会員事業所間の交流の活性化を図るとともに、会員加入の促進を図ることとする。

なお、これら事業を着実に推進するため、市を始めとする関係機関との連携強化、政策提言・要望活動の強化を図るとともに、事務局体制及び財政基盤の強化を図ることとする。

事業計画と戦略項目

3 中小企業の支援強化

- (1) 経済動向、需要開拓等に関する調査及び情報提供
 - ①各種動向の調査・成功事例等の情報収集の充実
 - ②会議所報、ホームページ等による情報提供の拡充
- (2) 経営分析・事業計画策定に係る支援
 - ①経営分析に資するセミナーの開催
 - ②創業、事業発展、事業承継に資するセミナーの開催
 - ③事業計画策定後のフォローアップの強化
- (3) 需要・販路開拓に係る支援
 - ①需要・販路開拓に資するセミナーの開催
 - ②ものづくり企業の交流会の開催（再掲）
 - ③つるおか大産業まつり及び江戸川区産業ときめきフェアへの出展（再掲）
 - ④ビジネスマッチ東北等への会員事業所出展への支援（再掲）
 - ⑤アジア輸出プロジェクトの推進（再掲）
- (4) 補助金・融資制度の活用支援
 - ①がんばる中小企業応援セミナーの開催
 - ②持続化補助金、やまがたチャレンジ創業助成金等の活用支援
 - ③経営改善資金等各種融資制度の活用支援
- (5) 経営指導員等による指導・相談
 - ①経営指導員による巡回・窓口指導



4 推進体制の整備及び会議所機能の強化

- (1) 推進体制の整備
 - ①鶴岡観光協会及び鶴岡市観光ガイド協議会事務局の受託
 - ②出羽商工会との共同事業の推進
 - ③産業振興センターへの職員派遣及び共催事業の拡充
 - ④経営支援関係機関及び専門相談員等との連携強化
- (2) 会議所機能の強化
 - ①会員加入の促進
 - ②中期行動計画の推進に係る委員会活動の活性化
 - ③部会活動及び青年部・女性会活動の活性化
 - ④会員事業所に対するサービスの拡充
 - ⑤政策提言・要望活動の強化
 - ⑥財政基盤・事務局体制の強化



1 基本戦略の推進

- (1) 先端性・伝統に基づく競争力のある企業の育成
 - ①技術者ネットワークの強化
 - ②ものづくり企業の交流会の開催
 - ③鶴岡工業高等専門学校等との情報交換会の開催
 - ④つるおか大産業まつり及び江戸川区産業ときめきフェアへの出展
 - ⑤ビジネスマッチ東北等への会員事業所出展への支援（新規）
- (2) 魅力ある商店の育成と中心商店街の賑わいづくり
 - ①鶴岡TMO事業の推進
 - ②第二期中心市街地活性化基本計画に基づく事業の推進
- (3) 「自然」「歴史」「文化」をテーマとした観光の推進
 - ①まちなか観光の推進
 - ②酒田商工会議所等との連携による産業観光の企画（新規）
 - ③DMO（地域全体の観光マネジメントを一本化する着地型観光のプラットフォーム組織）の設立に向けた調査研究（新規）
 - ④鶴岡まつり振興会議との連携による天神祭・荘内大祭の拡充
 - ⑤花見ぼんぼりの設置及び桜まつりの支援
- (4) 鶴岡・庄内が培ってきた資源やポテンシャルの活用
 - ①公益財団法人庄内地域産業振興センターとの連携による産学連携及び企業間・異業種間交流の推進
 - ②技術者ネットワークの強化（再掲）
 - ③鶴岡工業高等専門学校等との情報交換会の開催（再掲）
- (5) 若者の地元就職の促進と意欲ある事業所の取組みを支える人材の育成
 - ①鶴岡地区雇用対策協議会との連携による地元就職の促進
 - ②新規卒業者及びその保護者に対する地元企業の情報提供（新規）
 - ③人事担当者のスキルアップ研修会の開催
 - ④新入社員教育セミナー及びフォローアップセミナーの開催
 - ⑤女性活躍セミナーの開催
 - ⑥各種技能検定試験（簿記、販売士、福祉住環境コーディネーター、環境 社会、日商PC）及び講習会の開催
- (6) 地域活性化のための社会基盤の整備と推進策の見直し
 - ①高速交通網の早期整備に向けたシンポジウムの開催
 - ②国土交通省等との意見交換及び要望・提言活動（新規）
 - ③社会基盤整備に向けた活動への積極的な参画

2 重点事業の推進

- (1) ライフサイエンス・バイオテクノロジーの振興
 - ①高等教育研究機関及び研究成果に基づく企業との情報交換会の開催
- (2) 歴史的建造物を活用した街なかの賑わい・魅力づくり
- (3) 地域の優れた製品・農林水産物等の販売、観光客の誘致に向けた海外戦略の展開
 - ①輸出促進研修会の開催
 - ②アジア輸出プロジェクトの推進
- (4) 「食文化」による地域・企業の活性化に向けた戦略の展開
 - ①食のブランド化及び加工食品等の開発・販路開拓
 - ②鶴岡市及び出羽商工会との連携による「食」のガイドブックの作成（新規）
 - ③「城下町と食」ウォーキングの開催（再掲）
- (5) 内川沿いの地域の高度利用に向けた再開発
 - ①南銀座通り、一日市通り及び七日町通りの一部及び川端通りの一方通行解除の促進
 - ②まちなか居住、高度利用及び景観形成に向けた調査研究
- (6) 人的交流の活性化、鶴岡の認知度・存在感を高めるためのコンベンション・イベントの開催
 - ①東京商工会議所江戸川支部等との交流
 - ②地域活性化に資するキーパーソンの招致及び意見交換